



東地中海地域ニュース

イラン情勢(9)：保革両派の政治闘争

研究員 山崎 和美

改革派の動向：抗議行動継続か？

時事通信によると、改革派ムーサヴィー元首相に近い筋は、23日付のアラブ圏紙アッシャルク・アル・アウサトに対し、再選挙実現やアフマディーネジャード政権総辞職まで街頭抗議行動を継続する方針を明らかにした。同紙によると、ムーサヴィー氏のほか、ハータミー前大統領、キャッルービー元国会議長、ラフサンジャーニー元大統領も加わり、再選挙実現要求の貫徹に向けて街頭行動を進めていくという。

ムーサヴィー氏の妻ザフラー・ラーフナヴァルドさんは24日、ウェブサイトを通じ、「(指導者を選ぶ)国民の権利を守るために正当な抗議を継続するのはわたしの責務だ」と述べ、ムーサヴィー陣営は抗議行動を続ける意思を示した。またラーフナヴァルドさんは「多くの政治家や市民の逮捕を遺憾に思う。即時釈放を求める」と、平和的な抗議デモの弾圧を非難した。

米CNNによると、大統領選で敗れた改革派のキャッルービー元国会議長は23日、イラン国営メディアと、再選されたアフマディーネジャード大統領を支持する保守派を厳しく批判した。同氏は自身のウェブサイトにも国営テレビの保守派幹部に宛てた公開書簡を掲載し、選挙後の暴力沙汰や混乱の責任を改革派の抗議デモに転嫁している報道に強い反発を表明した。「無実の人々に対する攻撃や殴打、殺人」を実行しているのは抗議デモの参加者ではなく、私服の治安要員だと指摘した。

これに対し選挙結果の承認権限を持つ護憲評議会は、改めて選挙結果取り消しを拒否した。保守派が支配する護憲評議会が大統領再選を承認するのはほぼ確実な情勢である。保守派の聖職者シャフルディー司法長官は23日、「不法行為は民主主義を損ねる」と述べ、抗議行動の封じ込めを強化する姿勢を示した。

改革派支持者は24日夕(日本時間同日夜)、テヘランの国会前で抗議デモを呼びかけた。だが、AFP通信によると、大量動員された治安部隊が、集まった数百人(読売新聞によると約200人)の支持者を棒や盾を使って強制排除した、という。

政府側の動向：方針転換なし？

ハーメネー師、譲歩せず？一部寛容な姿勢も

最高指導者ハーメネー師は24日の演説で「(イスラーム)体制指導部および国家は、いかなる犠牲を払ったとしても圧力に屈することはない」と述べ、「大統領選のやり直し」を断固退ける決意を改めて示した。

マハスーリ内相は24日、ムーサヴィー氏支持派の暴徒は、米中央情報局(CIA)やイランの反体制派の政治組織ムジャヒディン・ハルク(イスラム人民戦士機構=MKO)から資金支援を受けていたと非難した。

また、学生通信によると、モッタキー外相は、英国との外交関係縮小を検討中と言明し、ムーサヴィー氏支持派の抗議行動の背後に外国の陰謀があるとの見方を改めて強調した。

国営通信は 24 日、死亡したイラン人女性ネダーさん銃撃は、MKO の仕業だと報じた。再選挙実施を要求する改革派のムーサヴィー元首相の違法行為で騒乱状態に陥り、これに乗じた MKO がテヘランなどでテロを行ったとし、「英国の支援を受けた MKO は、デモ参加者に向けて銃撃し、イランの立場を損ねるために映像を世界に流した」「ネダーさんの死を受けて西側メディアは、これに焦点を当てて誇張して報じている」と伝えた。

しかしながら、一方で、ハーメネー師は改革派に対する寛容な姿勢を示してもいる。イラン政府系放送局プレス TV は 24 日、最高指導者ハーメネー師がテヘラン市内で国会議員団に対し、改革派への寛容な対応を促したと伝えた。選挙結果をめぐる威圧的な要求に決して屈しないと明言する一方、法と秩序の重要性を指摘し、法に違反する行為は独裁政治につながると発言した。同師は「法とイスラーム革命の原則」に基づく統治で国民の要求に応えるべきだとの見解を表明するとともに、議員団に対して改革派の意見を許容し、派閥化を回避するよう助言したという。

プレス TV はまた、護憲評議会のスポークスマンが、今回の選挙で落選した候補者らの異議申し立てを全て検討した結果、大規模な不正は判明せず、イラン革命の 1979 年以来最も健全な選挙だったと明言したことを伝えた。スポークスマンは、「小さな不正」は判明したものの、選挙結果を変える規模ではなかったとしている。

改革派支持のサッカー選手、「引退」へ

米 CNN によると、韓国ソウルで 6 月 17 日に行われたサッカーのワールドカップ南アフリカ大会のアジア最終予選、韓国対イラン戦で、イランの一部選手がムーサヴィー元首相のシンボルカラーである緑のリストバンドを身に付け、プレーした問題で、選手 4 人が代表から除外されていたことが 24 日分かった。

レザーイー元革命防衛隊司令官、不服申し立て取り下げ

大統領選挙で敗れた 3 候補の 1 人、レザーイー元革命防衛隊司令官(保守派)が、選挙結果に対する不服の申し立てを取り下げた。国営イラン通信(IRNA)が 24 日、報じた。

西側諸国との関係

イラン空軍、演習開始

米国防総省高官は 23 日、イランが 22 日からペルシャ湾やオマーン湾を舞台に空軍演習を開始したと述べた。国営イラン放送によると、日程は 3 日間である。

ワシントン・タイムズ紙記者の拘束

外国メディアを監督する文化・イスラーム指導省当局者は 23 日、米保守系紙ワシントン・タイムズの記者を拘束したと述べた。ファールス通信が伝えた。

外国人の逮捕

米 CNN によると、イラン情報相は 24 日、選挙後の混乱に関連して複数の外国人を逮捕した、と記者団に語った。一部は英国旅券を保持しているという。

ファールス通信は、情報相が、英国は外交慣習を無視し、激しいプロパガンダで混乱を煽ろうとした最たる国だと非難したと報じた。英 BBC 放送もこれに関与しているとし、

英国旅券を保持する多数の人間が大統領選後の混乱で大きな役割を果たしたとも伝えた。

英国との対立

ブラウン英首相スポークスマンは24日、イランのモッタキー外相が英国との外交関係縮小を検討中だと報じられたことに関し、「状況を注視している」と慎重に対応を進めていることを明らかにした。AFP通信によると、英首相府報道官は24日、モッタキー外相の発言を受け、「我々は前向きな関係を求めている。イランが国内問題を英国や他国との対立に向けようとするのは大変遺憾なことだ」と述べた。

米、イラン外交官の招待取消

時事通信によると、ギブズ米大統領報道官は24日の記者会見で、7月4日の独立記念日に各在外公館で開くパーティーにイラン外交官を招待する方針を取り消したことを明らかにした。オバマ政権は今月はじめ、国交のないイランとの対話の一環として外交官招待を発表したが、その後のイラン大統領選結果への抗議デモをめぐる情勢が緊迫したことを受け、方針を転換した。

米大統領、大統領選前に最高指導者に親書

CNNによると、オバマ米大統領が、12日に行われたイラン大統領選の数週間前、イランの最高指導者ハーメネイー師に親書を送っていたことが、イランの複数の消息筋の発言で24日明らかになった。親書はイラン側に、米国との対話を促す内容であった。消息筋によると、ハーメネイー師は今のところ返事をしていないものの、親書によって両国がイラン大統領選後に交渉の機会を持つ道筋がついたという。

在外イラン人の反応

ノーベル平和賞受賞者、シーリーン・エバーディーさんの発言

イランの女性人権活動家でノーベル平和賞受賞者のシーリーン・エバーディーさん(62)は23日、ブリュッセルで毎日新聞などのインタビューに応じ、欧州連合(EU)など国際社会に対して、デモ隊を弾圧するイラン政府との外交関係を格下げし、対話を凍結する「政治制裁」を科すよう求めた。大統領選挙の結果に抗議するデモ隊と治安部隊の衝突について「最後は市民が勝利する」と強調した。

マフマルバーフ監督の発言

イランの著名な映画監督のモフセン・マフマルバーフ氏(52)は23日、ローマの外国人記者クラブで記者会見した。イラン大統領選の結果に反発し、「これ(アフマディーネジャード大統領が再選された選挙結果)はクーデターだ」「われわれの要求は、国際社会と国連(の監視)のもとで、新たな選挙を行うことである」と訴えた。同氏は15歳でイスラーム主義に傾倒し、シャー(国王)時代に逮捕され、1979年のイラン・イスラーム革命直後まで4年以上、政治犯として投獄された経験を持つ。代表作は「カンダハール」「ボイコット」などである。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799